

新年おめでとうございます！



昨年一昨年に続き「新型コロナウイルス感染症」に翻弄された年でした。秋頃には「感染拡大」が一段落し、人々の生活や経済が回復されるきざしが出てきました。しかし、感染力がいっそう強いとされている「オミクロン株」なるものが南アメリカからイギリスはじめEU諸国やアメリカに今まで以上の感染を拡大させる中、日本においても市中感染が発生し、人々の心配が増す状況で新年を迎えました。みなさんにも「感染」に対するいっそうの注意をしていただくとともに、政府・行政には、徹底した対策を要求していききたいと思います。



さて、昨年の「総選挙」では、大変お世話になりました。本格的な「市民と野党の共闘」が初めて実現し、政権交代とまではいきませんでした。が、「共闘勢力」は、4年前に比べ比例得票で246万票増やし、議席も42議席増やしました。この力で「与党勢力」の議席を19減らしました。日本共産党が減らしたことは残念ですが、全体で増やしたことは過小評価すべきではないと思います。

総選挙の結果、岸田政権が継続することになりました。「安倍・菅政権」によって進められてきた「ウソといんぺい」、「強権、福祉切り捨て」政治を変える期待もどこへやら、多少の名称変更はあるものの中身は「安倍・菅政治」の継承が明らかになりつつあります。

今年は参議院選挙が行われます。いっそうの「市民と野党の共闘」を強化し、自公政権に大打撃を与え、憲法9条や国民生活を守る「国民が主人公」の政治を実現させましょう。

日本共産党の沼田市内の支部と市議団は、みなさんと力を合わせて、全力で頑張ります。今年もよろしくお願いいたします。

2022年 日本共産党沼田市議会議員 井之川博幸
元旦 同 沼田北部・西部・薄根支部一同



12月議会報告井之川博幸議員の一般質問その3

3歳未満児・副食費の完全無償化を求める

市独自の無償化やいっそうの改善施策への姿勢見せず・・横山市長

井之川博幸議員は、本市では新生児「出生」の激減が続いており、「子どもを産める」夫婦の「保育料等子育て費用が安くなれば、子どもをもっと生みたい」という意見もあることから、3歳未満児の保育料（3歳以上児は国が無償化を実施）の無償化と、副食費（3歳以上児の保育料無償化実施時に副食費を有償化）の無償化を求めました。

横山市長は、「(以前の市長が実施し、改善してきた)保育料は国基準よりも安くし、第3子以降は完全無償化、副食費も第3子以降は無料などを実施している。完全無償化は、国などに要望している」などと、市独自の無償化やそれに向けてのいっそうの改善施策は行わない姿勢を示しました。

学校給食費の完全無償化を求める

生活環境及び学習環境の整備を優先したい・・横坂教育長

井之川議員は、保育料無償化などと同じ「子育て支援」として「学校給食費」の完全無償化とそれをめざす取り組み（前教育長が前向きに検討すると議会で答弁している）について質問しました。



横坂教育長は、「生活環境及び学習環境の整備を計画的に進めたい、今後も無償化について財政部門と協議しながら検討していきたい」と財政部門しだいと受け止められる答弁を行いました。

井之川議員は、「学校給食費の完全無償化は、本議会が全会一致で請願を採択していること、教育委員会の所管だけど、市の人口問題・将来の問題として市全体の問題という観点から実施に向けて検討すべき」と要求しました。

2022年1月1日 No.1046

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料